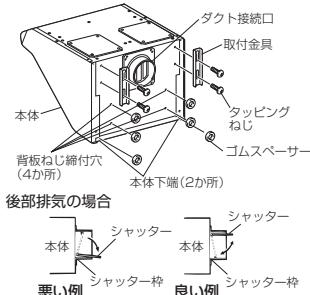


据付方法 つづき



4 取付金具・ゴムスペーサーの据付け

- 付属の取付金具を付属のタッピングねじ（各2本）で据付ける。
- 付属のゴムスペーサーのシールをはがし、本体背面に貼り付ける。
 - 背面ねじ締付穴4か所
 - 本体下端（壁に対し、本体が傾かない位置）2か所

（後部排気の場合）

⑥ ダクト接続口の据付け を参照してダクト接続口を据付ける。

お願ひ

シャッターの開き方向は図のようにしてください。
逆方向に据付けますと、シャッターが開いたままになりますので、ご注意ください。

5 本体の据付け

- 木ねじに取付金具を引掛け、支えながら木ねじを締め付ける。
（後部排気の場合）
ダクト接続口をダクトに差し込み、木ねじに取付金具を引掛け支えながら木ねじを締め付ける。
- 本体内部から壁面に向けて、付属の木ねじ（Φ4.1×20）で、図のように本体4か所を固定する。
- 水平に据付いていることを確認する。

6 ダクト接続口の据付け

付属のタッピングねじ4本で付属のダクト接続口を使用する排気口に据付ける。

- 排気口を変更したい場合は、ねじで止めてある取付板のねじをはずして付替える。
- あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口とにすがりでた場合は、ダクト接続口のタッピングねじをゆるめてすらし、ダクトと合わせる。

お願ひ

- シャッターの開き方向とダクトの曲がりは図のようにしてください。
- 排気方向と逆にダクトの曲がりがありますと、排気性能が悪くなります。

●ダクト接続口とダクトの合わせ部より風漏れのないよう市販のアルミテープでテープする。

お願ひ

- ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテープしてください。
- ダクト接続口に無理な力を加えないでください。変形し、風漏れやシャッター動作不具合の原因になります。
- シャッターがダクトに接触しないように据付けしてください。異常音発生や製品性能が得られないことがあります。

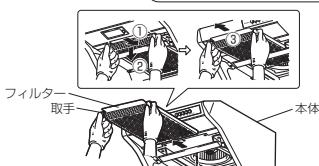
7 電気工事

下記の要領で結線を行い、電源プラグをコンセントに差し込む。
※アース端子（本体天面）を使用して、必ずD種接地工事を実施してください。

結線要領

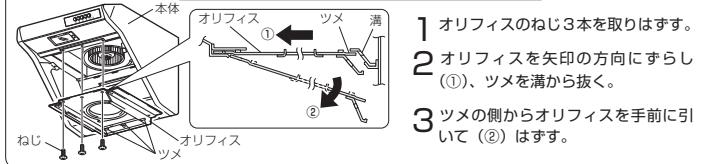
- 電動給気シャッター・中間取付形電動シャッター（システム部材）を使用する場合
連動出力コードの先端を切断して、電動給気シャッター・中間取付形電動シャッターに接続する。
- 電動給気チャンバー・幕板セット（システム部材）を使用する場合
連動出力コードのコネクタと電動給気チャンバー・幕板セットのコネクタを接続する。
※詳細は電動給気チャンバー・幕板セットの接続の据付説明書による。

フィルターの取りはずし方法



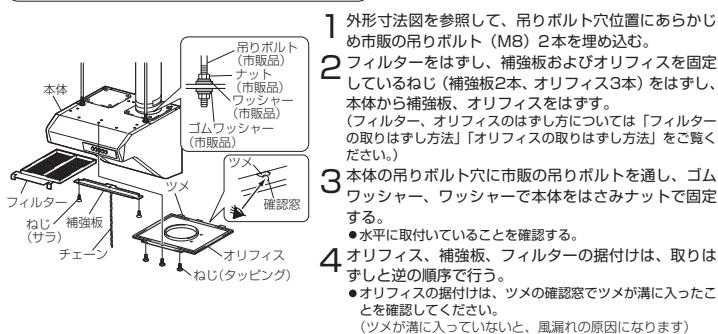
フィルターの左右の取手をつまみ（①）、押し下げて（②）、手前へ引き抜く（③）。

オリフィスの取りはずし方法



- オリフィスのねじ3本を取りはずす。
- オリフィスを矢印の方向にすらし（①）、ツメを溝から抜く（②）。
- ツメの側からオリフィスを手前へ引いて（③）はすす。

●吊りボルト（市販品）を使用する場合



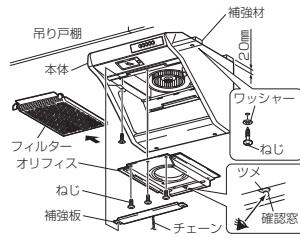
1 外形寸法図を参照して、吊りボルト穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）2本を埋め込む。

2 フィルターをはずし、補強板およびオリフィスを固定しているねじ（補強板2本、オリフィス3本）をはずし、本体から補強板、オリフィスをはずす。
(フィルター、オリフィスのはずし方については「フィルターの取りはずし方法」「オリフィスの取りはずし方法」をご覧ください。)

3 本体の吊りボルト穴に市販の吊りボルトを通して、ゴムワッシャー、ワッシャーで本体をはさみナットで固定する。
●水平に取付いていることを確認する。

4 オリフィス、補強板、フィルターの据付けは、取りはずしと逆の順序で行う。
●オリフィスの据付けは、ツメの確認窓でツメが溝に入ったことを確認してください。
(ツメが溝に入っていないと、風漏れの原因になります)

●吊り戸棚などの下面に直接据付ける場合



お願ひ

据付面の強度が弱い場合は、あらかじめ補強材を据付け十分強度をもたせてください。

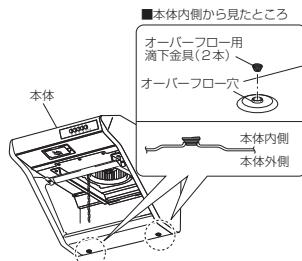
1 フィルターをはずし、補強板およびオリフィスを固定しているねじ（補強板2本、オリフィス3本）をはずし、本体から補強板、オリフィスをはずす。
(フィルターの取りはずし方法」「オリフィスの取りはずし方法」をご覧ください。)

2 コード類の逃げ穴を、吊り戸棚などの底面にあけるか、20mm以上の空間が取れるようにスペーサーを入れて、付属の木ねじ（4.1×20）とワッシャーで据付ける。

3 オリフィス、補強板、フィルターの取付けは、取りはずしと逆の順序で行う。
●オリフィスの取付けは、ツメの確認窓でツメが溝に入ったことを確認してください。
(ツメが溝に入っていないと、風漏れの原因になります)

8 オーバーフロー用滴下金具の取付け

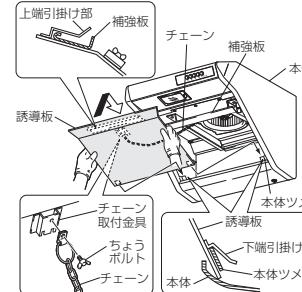
1 オーバーフロー穴に付属のオーバーフロー用滴下金具を取付ける。



9 誘導板の取付け

警 告

誘導板をチェーンで確実に固定してください
(落下によりけがの原因)



1 チェーンを誘導板のチェーン取付金具に付属のちようボルトにて締め付ける。

2 誘導板の左右の端を持ち、誘導板の下端引掛け部を本体ツメ部にはめ込み、誘導板の上端引掛け部を補強板にはめ込む。

3 誘導板を前後に押してはずれないことを確認する。

据付け後の確認

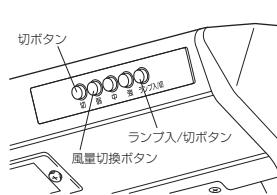
■据付けが終わりましたら、次の確認をしてください。

警 告

ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る。
(感電することがあります)

- 1 本体、誘導板はしっかりと固定されていますか？ランプは点灯していますか？
- 2 D種接地工事は実施されていますか？

■電源プラグをコンセントに差し込み、次の確認をしてください。



1 電源プラグはしっかりと差し込まれていますか？

2 ランプ入/切ボタンを押すとランプが点灯しますか？

3 風量切換ボタンを押して風量が切換りますか？

4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？

■チェック表にしたがって点検します。

不具合があった場合は必ず直してください。

(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

〈チェック表〉

チェック項目	不具合時の対策	チェック
本体は確実に固定されていますか？	本体を確実に固定します	
ランプは点灯していますか？	ランプを確実に取付けます	
電圧は100Vですか？	100Vに直します（異電圧を印加すると製品が破損します）	
D種接地工事はされていますか？	D種接地工事をします	

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。